

第79回中小トラック部会 レポート

川崎運送労組 阿部健次郎

2023年10月29日(日) 13:00～

全日通霞が関ビル8階 大会議室にて、第79回中小トラック部会を63名の参加(WEB併用)で開催されました。

司会進行として入倉書記次長(運輸労連本部)から、代表者として運輸労連 世永副委員長が挨拶を行いました。

続いて座長挨拶に、小椋(太平洋陸送労組)、田中(佐渡汽船運輸労組)、小牟田(日通関西物流労組)の三人が選出されました。

本部説明として、坂井書記次長(運輸労連本部)より、第53回運輸問題研究集会の冊子から抜粋した、

- (1) 大型貨物自動車における高速道路の速度制限について
- (2) 休憩施設における利便性向上の取り組み(短時間駐車マス)について
- (3) 標準的な運賃の届出状況

の説明があり、休憩を入れ各分散会会場に移動しました。



第三分散会は、会場に招集した16名が7階の会議室に移動して、小牟田座長と大原書記次長(運輸労連本部)の進行によって始まりました。

本部から説明があった(1)について、自己紹介も含めて、全員が意見を述べましたが、各会社の仕事内容や管理状態など、立場立場によって様々な意見(考え方)が出されました。

(2)については、NEXCO(東日本・中日本・西日本)が、この秋から実証実験をすることもあり、ドライバーとしては「効果的な運営を進めて頂き、期待したい」などの意見が多くありました。(3)については、標準的な運賃は出しているが、金額や実績などは聞けていない労組が多く、取り組みについてさらに取り組むことが必要だし、多重下請構造を改善する必要があるとなりました。(4)3PLについて、各労組も倉庫側の気持ちが分かる場所もありますが、「特に対応が酷い倉庫あり対策をする必要がある」と意見が多かったです。(5)構内事故削減については、特に構内でのバック事故について話し合いましたが、各会社・労組もバック事故については、「バック時下車確認」「バックギアを入れてから3秒待つ」「後退する前にサイドブレーキを一度引く」「コメンタリー運転をする」他に、事故惹起者についての各社ペナルティーなど、いろいろな意見交換ができました。